

# CHITOSE CENTRAL ROTARY CLUB

Passion & Green & Action. 2007-2008



発行 千歳セントラルロータリークラブ

会長 入口博美 / 副会長 白木松敏 / 幹事 佐々木俊英 / 会報編集責任者 武田伸也

〒066-8520 北海道千歳市本町4丁目4 ホテル日航千歳 1F TEL・FAX.0123-26-5788

オフィシャルホームページ <http://ccrc.jp> E-mail. [ccrc@f3.dion.ne.jp](mailto:ccrc@f3.dion.ne.jp)

## 会長あいさつ

会長 入口 博美

先週皆様には「新年明けましておめでとうございます。」とご挨拶させていただきましたが、これからまだまだ新年会が開催され、この挨拶が続く時期であります。

私共クラブ新年交礼会が8日、9日には千歳ライオンズクラブと千歳青年会議所、10日には千歳ロータリークラブの新年交礼会が開催されました。開催日が重複しておりましたので、役員を割り振りして出席して参りましたことご報告させていただきます。理事の方々のご苦労様でした。さて今年は、節目の年であります。千歳市市制施行50周年記念、千歳ロータリークラブにおいては創立40周年記念、支笏湖氷とうまつり、インディアン水車まつりは30回目を数える開催となります。そして、北海道再生の起爆剤となるであろう『洞爺湖サミット』の開催等などの多彩な事業が我々の周辺に点在することになる年であります。我々のクラブもこれらに如何にして関与できるか、「緑」にこだわりながら早急に検討していきたいと思うところであります。

さて本日は、皆様には正式に私の立場からお話する機会を逸し、大変ご迷惑をおかけしたところでございますが、8年間当クラブに在籍していただきました千葉順吾会員が2月15日に定年退職、我がクラブから退会ということになりました。後任には金山氏が入会していただけることを先日皆様にお知らせしました。千葉さんには、長年当クラブの例会等での厚いお計らいを頂きましたことを、厚く御礼申し上げたいと存じます。また後任の金山会員におかれましては、千葉さん以上のご高配をお願い申し上げます。

また、今年度これから下半期に入るわけでございますが、徐々に次年度に目を向けて、新しい理事を中心に各種の検討をしていかなければなりません。7月1日は新体制のスタートの日であり、サミットの開催日でもあるという、忙しいスタートの日になると思います。「こころ一番」という心掛けでよろしく願いいたします。

ややもすると今期はもう既に終了したものと、気の抜けた状況に陥ることの無い様、気を引き締めてかかりたいと思っておりますので、私に対して気合を入れていただければうれしく思います。

## 例会出席状況 (2008年1月15日)

会員数	32名
会員出席者数	23名
欠席者数(無断欠席)	10(3)名
出席率	69.7%
ゲスト・ビジター出席者数	0名
出席者数総計	23名

以上、これから半年の間、頑張ってお参りしましょう！

## 幹事報告

幹事 佐々木 俊英

1月8日の理事会にて審議されましたことを報告致します。

- 会員選挙について 金山 徹 氏、本日付入会。
- ファミリー歯科の福田先生のゴルフコンペ益金よりクラブに、今年は 68,000 円を戴きました。米山記念館に寄付させて頂きます
- 米山梅吉記念館への 100 円募金運動について 各会員より 100 円を集め、募金運動に協力します。
- 千歳市聴力障害者協会が、第 41 回全道ろうあ者夏季体育大会開催(6 月)を主管することとなり、その福祉向上の趣旨を理解し、1 万円の協賛広告に協力。
- ロータリー財団補助金を、緑化推進事業の補助金要請で申請しておりましたが、審査の結果承認されました。1 月末日までに 45 万円が授与されることになりました。

## 退会挨拶 千葉 順吾 氏

只今、会長より過分なるお言葉を戴きまして大変恐縮しております。12月31日にて当クラブを退会させて頂きました。顧みすれば1999年、わが社の当時の吉田社長が退任する前に「是非、千歳セントラルロータリークラブの事務局



を日航ホテルに」ということで、私とその命を受け、受け入れ準備にあたりました。当時からお付き合いのあった坂井さんに直接相談したのが最初でありました。

7月6日、ホテルの正面玄関にプレートを設置し除幕式を行ったのを、今でも鮮明に覚えております。

ロータリーのことは何も分からずスタート致しましたが、諸先輩のご指導をいただきながら異業種の皆様との交流、そして奉仕活動と、実りある8年6ヶ月でございました。松坂会長年度の10周年、須藤会長年度の15周年記念式典には微力ながらお手伝いできましたこと誇りに思っております。20周年には、更に何らかの貢献をとっておりましたのをとても残念に思います。私に代わりまして金山が入会となりますが、私と同様にご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。

2月15日に私は定年退職しサンデー毎日となりますが、ハローワークで新たに仕事を見つけ頑張りたいと思っております。ロータリーソング「それでこそロータリー」にもありますように、何処で会っても「ヤァー！」と声を掛けて頂ければ幸いです。

クラブの益々のご発展、会員皆様のご健康とご活躍を祈念して、退会のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました！

## 入会式

今年度、5人目の新入会員をお迎えしました。  
入口会長よりバッチ授与の後、歓迎の握手



**金山 徹 会員** (52歳 ホテル日航千歳 料飲部長)  
この度入会させていただくことになりました。

日航ホテルにはオープンする1年前より勤めましたので、29年間になります。

その間、空港勤務もあり、その節は今井さん、羽芝さんに大変お世話になりました。

1999年にセントラルさんがこちらに入られまして、いろいろな方とお会いしておりましたが、私がこのような席に座ることになろうとは思っておりませんでした。

前任者の千葉同様宜しくお願い致します。

## 委員会報告

地区 WCS 委員会 田口 廣 委員

WCS事業チェンマイ地区洪水防止用チェックダム事業には、ご支援をありがとうございました。その節に、書き損じはがきを皆さんにお願いしておりましたが、現在30枚ほど集まっています。余っている年賀状等がございましたら、是非お持ちください。年賀ハガキのお年玉抽選後にも宜しくお願い致します！

## ニコニコBOX

- 田口廣会員：中山競馬場で先週の土曜日にチョツといことが！デビュー戦で1着と5着。
- 入口博美会員：羽生さんの生活情報誌『ちゃんと』新年号にクラブの紹介として私の挨拶が載りました。また先日、妻の兄が急逝し、皆様にご心配をおかけしました。
- 今井章夫会員：12月24日、ゴスペラーズのコンサートの際の益金を、社協のテナント会より寄贈しました。民報に私の顔写真が掲載されました。
- 深見浩会員：今年は千歳市々制施行50周年の記念すべき年。今日、私も50周年！
- 井上英幸会員：1月19日、私は51周年！
- 大野 馮会員：遅ればせながら、1月1日に私は71周年！！
- 松坂敏之会員：『光と氷のオブジェ』の記事が民報に掲載。
- 多賀勲会員：沖縄に行ってきました。1月8日ゴルフコンペで優勝しました。
- 佐藤文雄会員：お正月にうれしいことがありました。

## 本日のプログラム

担当/ロータリー情報委員会 委員長 大野 馮

### 会員卓話「四大奉仕について」

年に1回の情報委員会です。

慣れすぎて忘れがちなことがたくさんあるかと思われま。新しい年の始めに、皆さんとともにロータリーについて基本的な四大奉仕の考え方を再認識したいと思います。

ロータリー情報の大きな目的はロータリーの綱領と原則、及び四大奉仕部門に関する会員の理解を育むこと。二つめはロータリアンひとり一人がロータリーの理想に自ら献身し奉仕することにより、責任感と理解を養うこと。このように言われております。以後、資料を基に説明致します。



——「クラブ奉仕」には、ロータリアンが自分たちのクラブをうまく機能させるために必要な活動の全てが、含まれません。

「職業奉仕」というのは、各ロータリアンが自分の職業の尊さと有用性を、そのクラブの他の会員たちに説明しなければならない時には、良く説明してあげることをはじめとして、就職相談、職業研修、および職場で高い職業道徳の奨励など、活動分野に関連したプロジェクトを実施する際の、クラブの責任を意味します。

「社会奉仕」というのは、ロータリアンが、自分の地域社会の、生活の質を向上させるために行うような活動に関係するものです。それはしばしば、若年層や高齢者や障害者、その他の人々で、より良い生活への希望を求めるとして、ロータリーに期待を寄せている人々への援助も、含みます。

第四部門、即ち「国際奉仕」は、ロータリアンが国際間の理解と善意と平和を促進するために、行事計画と活動を述べたものです。「国際奉仕」の各種プロジェクトは、多くの国々の人々の求める、人間生活の必需品や窮状の救済に応えることを、目的とするものです。

ロータリーの第1奉仕部門。ロータリアンが、クラブを円滑に機能させるために、クラブ内で講じる措置に関するものです。出席、職業分類、クラブ会報、親睦活動、雑誌、会員選考、会員増強、プログラム、広報、ロータリー情報などがあります。例会に始まるロータリーの会合への出席奨励、会員の職業分類の整備、クラブ会報刊行、親睦事業や例会のプログラム設定、ロータリーの雑誌についての案内、会員増強、ロータリーを一般に広報すること、ロータリー情報の指導者として、など、クラブの運営にかかわるものを指します。

ロータリーの第2奉仕部門。その目的には、事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくことが含まれる。クラブの役割としては、クラブ会員の手腕を生かして、社会のニーズに応えられるようなプロジェクトを開発することが含まれる。クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って、自らと自分の職業を律し、併せてクラブが開発したプロジェクトに応えることである。

職業奉仕は、クラブと会員両方の責務です。「四つのテスト」(The Four-Way Test)に、職業奉仕の精神が生きています。具体的には、各会員の職業を生かし、青少年に対し職業指導(Vocational Guidance)として就職相談を行ったりしています。特に日本では、職業倫理についての関心が高く、「職業奉仕こそがロータリーのロータリーたるゆえんである」と言われています。

ロータリーの第3奉仕部門。クラブの地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を向上させるために、時には、他団体(例えば、ローターアクト・クラブ、インターア

クト・クラブ、ロータリー地域社会共同隊)と提携して、ロータリアンが行う各種活動。

社会奉仕は、地元社会のニーズに応えるものですから、それぞれ地域のニーズによって、当然活動が違ってきます。青少年のためにサッカー教室や野球教室を開催したり、植樹、図書館に本を寄贈する、老人ホームや児童養護施設の訪問、その他さまざまな活動があります。

ロータリーの第4奉仕部門は、ロータリアンが、国際理解、親善、平和を推進するために、実施できることすべてから成る。その方法は、他国の人々、その文化、慣習、業績、抱負、問題を知ることであり、また、旅行や国際大会出席による個人交流であり、読書や文通であり、さらに、他国の人々の役に立つクラブの活動やプロジェクトすべて(ロータリー財団を含む)に協力することである。

さらに、国際奉仕の目的(Purpose of International Service)として「ロータリアンのあいだに、また、一般の人々のあいだに理解と善意をはぐくむことが、ロータリーの国際奉仕の明確な任務であるとあります。

国際奉仕も、クラブと会員両方の責務です。この奉仕が目指していることは、ロータリーの綱領第4項「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」にあります。